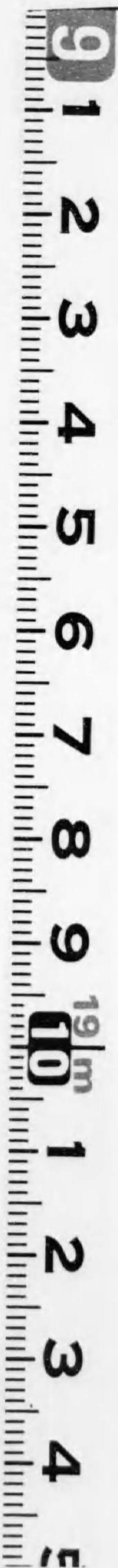


始



秋季演習令問答

軍需商會編纂部著

(大正四年
十月出版)

特117

132

發行所

軍需商會

緒 言

本書ハ秋季演習令ニ關シ初級幹部以下ニ直接必要ナル諸件ヲ網羅シ之ヲ問答體ニ説述シテ本書研究上ノ着眼點ヲ示シ且問答ノ要領ヲ會得セシムルノ要ニ供スルニアリ故ニ教授用トシテ又自習用トシテ將校ヲ始め下士上等兵並ニ其ノ候補タル諸君ノ爲メ多少ノ参考書タルヘキヲ信ス

大正四年十月

著 者

識

大正
4. 10. 23
内交

秋季演習令問答

目 次

第一篇 總 則	一
第二篇 秋季演習ノ結構	七
第一章 演習ノ種類	一
第二章 秋季野外教練	八
第三章 特別演習	一一
一 通 則	一一
二 特別騎兵演習	一二

第三章 特別重砲兵演習	一三
四 特別工兵演習	一四
第四章 機動演習	一五
一 旅團演習及師團演習	一五
二 師團對抗演習	二二
三 特別大演習	二三
第三篇 秋季演習ノ計畫及實施	
第一章 演習ノ審判	二四
一 審判官ノ任命及服務	二四
二 審判上ノ要則	二九

第二章 講評	四五
第三章 行李及輜重	五〇
第四章 宿營	五四
第五章 通信	五五
第六章 信號	五六
第七章 標識	六四
一 統監部ノ標識	六四
二 中立者及陪觀者ノ標識	六六
三 射擊ニ關スル標識	六七
四 兩軍ノ識別及假設部隊ニ關スル標識	七八

五 假設工事ニ關スル標識	七八
第八章 禁制及注意	八〇
第九章 損害賠償	八八
第十章 人馬ノ衛生	九一
第十一章 憲兵	九二
第十二章 演習後ノ觀兵式	九五
第十三章 雜則	九六

秋季演習令問答目次終

秋季演習令問答

第一篇 總則

問 秋季演習ノ目的ヲ問フ

答 秋季演習ハ各級幹部及兵卒ヲシテ大部隊内ニ於ケル行動ヲ演練シ陣中勤務及戰鬪ノ諸動作ヲ習得セシムルト
同時ニ兩軍指揮官及各部隊長ヲシテ情況ニ應シ適確ニ
軍隊ヲ運用スルノ能力ヲ發達セシムルヲ目的トス
問 秋季演習中常ニ腦裡ニ描キ忘ルヘカラサル事項並ニ此ノ演

習ノ價值ナキモノトハ如何ナルモノヲ云フヤ

答 秋季演習ハ最モ實戰ニ近似シ能ク戰時ノ實況ヲ示スモノナリ然レトモ竟ニ示シ得サルモノハ危險ノ光景、悲慘ノ情況、勝ヲ爭フノ實敵ナリトス演習中宜シク此數者ヲ腦裡ニ描キ決シテ忘ル可カラス此ノ觀念ヲ缺ケル演習ハ全ク價值ナキモノトス

問 秋季演習ヲ行フニ當リ平素ノ教育ニ關シ教育上顧慮スヘキ事項ヲ述ヘヨ

答 秋季演習ニ於テハ軍隊ヲシテ平素ノ教育ニ依リ養成シタル至嚴ナル軍紀ト旺盛ナル志氣ト勇往敢爲ノ氣象ト

ヲ益々振作向上セシメ兼テ其持久力ヲ增進セシムルコトニ注意シ且ツ絶エス敵火ノ效力ニ留意シ地形ノ利用隊形ノ選擇ヲ忽ニセサルヲ要ス

演習團隊ノ大ナルニ從ヒ動モスレハ小部隊ノ行動特ニ兵卒各個ノ諸動作ヲ忽諸ニ付シ爲メニ平素ノ教育ニ惡影響ヲ及ホスコトナシトセス各將校ハ銳意精勵此弊ヲ除去シテ教育ノ完成ニ勉ムルト同時ニ自己ノ技倆ヲ練磨向上セサル可カラス

問 秋季演習ニ於テ其實施上之レニ參加スル各員ニ對シ要求スル事項ヲ説明セヨ

答 秋季演習ハ之ニ參加スル各員ヲシテ協同一致能ク其職責ヲ敢行シ且ツ一タヒ上級指揮官ノ命令ヲ受クルヤ如何ナル艱難ニ遭遇スルモ不屈不撓全力ヲ竭シ之ヲ遂行スルヲ以テ第二ノ天性タラシムル如ク實施スルヲ要ス秋季演習ヲ行フニ當リ其演習ノ構成及實施上特ニ主要ナル條件ヲ問フ

答 諸兵種互ニ協力一致シ某目的ニ對シ各自固有ノ力ヲ最高度ニ發揮スルコトヲ演練スルコト、斯秋季演習ノ軍隊ニ與フル最良ノ機會トハ何カ又之レニ依テ得タル經驗ノ軍隊ヲ利スル事項並ニ之レカ爲メ演習ノ實施

上必要ナル事柄ヲ述ヘヨ

答 秋季演習ハ

一、軍隊ヲシテ艱苦缺乏ニ耐ヘ克ツノ精神ヲ增進セシメンカ爲メ最良ノ機會ヲ與フルモノナリ
二、一タヒ經驗ニ上ルノ後ハ大ニ自信力ヲ強クシ又進取力ヲ増スモノトス
三、故ニ時トシテハ非常特異ノ情況ヲ設ケテ演習シ軍隊ヲシテ之ニ應スルノ要求ヲ充足シ得ルニ至ラシムルコト必要ナリ

問 秋季演習ヲシテ效果アラシムル爲メ演習員ノ緊要ナル覺悟

如何

答 秋季演習ヲシテ眞ニ效果アラシムルニハ審判官ノ敏捷ナル活動ト適切ナル判決トニ俟タサル可カラサルモノ多シ然レトモ審判官ノ數ニハ限リアルヲ以テ隨時隨所ニ現出シテ總テノ行動ヲ審判スルハ困難ナリ是ニ於テ力演習員各自特ニ將校ノ戰術上ノ判断、演習上ノ德義ニ依リテ其缺ヲ補ハサル可カラス各演習員ハ宜シク研究ト修養トヲ主トシ以テ非實戰的行爲ヲ避クルコトニ勉ムルヲ要ス

第二篇 秋季演習ノ結構

第一章 演習ノ種類

問 秋季演習トハ何ヲ云フヤ

答 秋季演習トハ

- 一、秋季演習
- 二、特別演習
- 三、機動演習

ヲ總稱スルモノトス

問 特別演習ナルモノ、區分ヲ問フ

答 特別演習ハ之ヲ分チテ

一、特別騎兵演習 二、特別重砲兵演習

三、特別工兵演習

ノ三種トス

問 機動演習トハ何ヲ云フヤ

答 機動演習トハ

一、旅團演習

二、師團演習

三、師團對抗演習

四、特別大演習

ヲ總稱スルモノトス

第一章 秋季野外教練

問

秋季野外教練ヲ行フ時期並ニ其ノ目的ヲ問フ

答

秋季野外教練ハ通常機動演習若クハ特別演習ニ先チ各
團隊ニ於テ行フモノニシテ成ルヘク諸兵種ヲ連合シ典

令範ノ原則ヲ演練スルヲ目的トス

問

秋季野外教練ヲ施行スル場所並ニ其ノ日數ヲ決定スルタメ
顧慮スヘキ事項ヲ問フ

答

秋季野外教練ハ演習場或ハ機動演習特別演習ノ集合地
ニ到ル途中若クハ特別ニ演習地ヲ選定シテ施行スルモ
ノニシテ其ノ日數ハ經費及地形等ヲ顧慮シ各團隊ニ於
テ適宜之ヲ定ムヘキモノトス

秋季野外教練ノ爲メ特別ニ演習地ヲ選定セントスルト
キハ機動演習若クハ特別演習ノ爲メノ集合ヲ顧慮スル
ヲ要ス

問 機動演習若クハ特別演習ニ參加セサル部隊モ亦秋季野外教
練ヲ施行スルヤ如何

答 施行スルヲ常トス

問 重砲兵隊ノ秋季野外教練ヲ行フ場所並ニ爲シ得レハ此ノ際
行フヘキ演習ヲ述ヘヨ

答 重砲兵隊ノ秋季野外教練ハ其砲兵隊所在ノ要塞ニ於テ
モ之ヲ行ヒ爲シ得レハ此演習ト射擊演習トヲ併セ行フ

ヲ可トス

第三章 特別演習

一 通 則

問 特別演習ヲ行フ時期並ニ其ノ統監及ヒ之レヲ監督スル者ト
ハ誰ナルヤ

答 特別演習ハ通常機動演習ニ先チ行フモノニシテ
一、當該兵科ノ兵監ヲ以テ統監ト爲シ
二、教育總監之ヲ監督ス
三、時トシテ他ノ將官ヲシテ特別演習ヲ統監セシムル

コトアリ

問

特別演習ニハ他兵種ノ部隊ヲ連合セシムルコトヲ得ルヤ

答 要スレハ他兵種（特別重砲兵演習ニ在リテハ野砲兵及山砲兵ヲ含ム）ノ部隊ヲ連合セシムルコトヲ得ルモノ

トス

二 特別騎兵演習

問

特別騎兵演習ヲ行フ部隊ノ數並ニ其ノ目的ヲ問フ

答 特別騎兵演習ハ

一、三箇以上ノ騎兵聯隊ヲ以テ行フモノニシテ
二、騎兵團ヲ以テスル搜索、警戒及戰鬪ヲ演練スルヲ

目的トス

問

特別騎兵演習ヲ行フ回數並ニ其ノ日數ヲ述ヘヨ

答 特別騎兵演習ハ

一、通常隔年ニ一回之ヲ行フモノニシテ
二、其ノ日數ハ概ネ六日以内トス

三、特別重砲兵演習

問

特別重砲兵演習ヲ行フ部隊ノ數並ニ其ノ目的ヲ問フ

答 特別重砲兵演習ハ

一、二箇以上ノ重砲兵隊ヲ以テ行フモノニシテ
二、陣地若クハ要塞ノ攻守ニ關スル重砲兵ノ指揮及戰

鬪法ヲ演練スルヲ目的トス

問 特別重砲兵演習ヲ行フ回數及其ノ日數如何

答 特別重砲兵演習ハ

- 一、通常隔年ニ一回之ヲ行フモノニシテ
- 二、其ノ日數ハ概ネ十日以内トス

四、特別工兵演習

問 特別工兵演習ヲ行フ部隊ノ數並ニ其ノ目的ヲ述ヘヨ

答 特別工兵演習ハ

- 一、二箇以上ノ工兵大隊ヲ行フモノニシテ
- 二、陣地若クハ要塞ノ攻守又ハ架橋等ニ關スル大規模

ノ作業ヲ演練スルヲ目的トス

問 特別工兵演習ヲ行フ回數及其ノ日數ヲ説明セヨ

答 特別工兵演習ハ

- 一、通常毎年一回之ヲ行フモノニシテ
- 二、其ノ日數ハ概ネ十四日以内トス

第四章 機動演習

一 旅團演習及師團演習

問 旅團演習ノ編合並ニ其ノ目的ヲ問フ

答 旅團演習ハ歩兵旅團内ノ兩聯隊ニ騎兵、野(山)砲兵、

工兵、輜重兵ヲ編合シ之ヲ兩軍ニ分チテ相對抗セシメ
主トシテ混成部隊ノ戰鬪及陣中勤務ノ諸動作ヲ演練ス
ルヲ目的トス

問

旅團演習ノ終リニ混成旅團ノ假設敵ニ對スル演習ヲ行フコ
トヲ得ルヤ

答 要スレハ其ノ終リニ於テ一日若クハ二日間混成旅團ノ
假設敵ニ對スル演習（主トシテ戰鬪演習）ヲ行フコト
ヲ得ルモノトス

問

師團演習ノ區分ヲ問フ

答 師團演習ヲ分チテ

一、旅團對抗演習

二、師團假設敵演習

ノ二種トス

問

旅團對抗演習トハ何カ並ニ其ノ目的ヲ説明セヨ

答 旅團對抗演習ハ

一、步兵約一旅團ヲ基幹トセル混成旅團ノ相對抗スル
演習ニシテ

二、主トシテ混成旅團ノ戰鬪及陣中勤務ノ諸動作ヲ演
練スルヲ目的トス

問

師團假設敵演習トハ何カ並ニ其ノ演習ノ目的ヲ問フ

答 師團假設敵演習ハ

一、假設敵ニ對スル師團ノ演習

二、主トシテ師團ノ戰鬪動作ヲ演練スルヲ目的トス

問 旅團演習及師團演習ヲ行フ年限部隊ヲ問フ

答 旅團演習及師團演習ハ毎年各師團ニ於テ之ヲ行フモノ

トス

問 旅團演習ノ統監ハ誰レカ任スルヤ

答 旅團演習ノ統監ハ當該步兵旅團長之レニ任ス

問 師團演習ノ統監ハ誰レカ任スルヤ

答 師團演習ノ統監ハ當該師團長之レニ任ス

問 所屬師團ノ機動演習ニ參加セサル騎兵旅團、騎砲兵旅團、

重砲兵隊、交通兵隊並滿洲駐劄師團ニ屬スル山砲兵大隊、
輜重兵大隊ハ之ヲ他師團ノ機動演習ニ參加セシムルヤ

答 爲シ得レハ參加セシムルモノトス

問 特別大演習及師團對抗演習ニ參加セサル師團ノ機動演習ノ
日數及其ノ日割ヲ説明セヨ

答 其ノ日數ハ九日間トシ要スレハ一日ヲ增減スルコトヲ
得

其ノ演習日割左ノ如シ

一、旅團演習 四日間

二、師團演習 五日間（内師團假設敵演習一日若クハ
二日）

問 師團長ハ要スレハ旅團演習及師團演習ノ日數ヲ一日間
彼此増減スルコトヲ得

答 特別大演習及師團對抗演習ニ參加スル師團ノ旅團演習及師
團演習ノ日數及其ノ日割ヲ問フ

答 其ノ日數ハ合計七日間トシ要スレハ一日ヲ減スルコト
ヲ得

其ノ演習日割左ノ如シ

一、旅團演習 三日間

二、師團演習 四日間（内師團假設敵演習一日若クハ
二日）

師團長ハ要スレハ旅團演習及師團演習ノ日數ヲ一日間
彼此増減スルコトヲ得

二、師團對抗演習

問 師團對抗演習ノ編合並ニ其ノ目的ヲ問フ

答 師團對抗演習ハ二箇ノ師團ヲ相對抗セシメ以テ師團ノ
作戰ヲ演練スルヲ目的トス

時宜ニ依リ所屬師團ニ關セス騎兵旅團、野砲兵旅團、
山砲兵大隊、重砲兵隊、交通兵隊及輜重兵大隊ヲ參加

セシムルコトアリ

二十二

問 師團對抗演習ヲ行フ年限並ニ其ノ日數ノ規定如何

答 師團對抗演習ハ

一、概ネ毎年一回之ヲ行フモノニシテ

二、其ノ日數ハ三日間トス

但シ要スレハ更ニ一日ヲ增加スルコトヲ得

問 師團對抗演習ノ統監ハ誰ナルヤ

答 特ニ勅命セラル、將官ヲ以テ統監ト爲ス

三、特別大演習

問 特別大演習ヲ行フニ當リ其ノ區分編組並ニ目的ヲ問フ

答 特別大演習ハ三箇以上ノ師團ヲ適宜ニ區分編組シテ相對抗セシメ主トシテ軍ノ作戰ヲ演練スルヲ目的トス
時宜ニ依リ所屬師團ニ關セス騎兵旅團、野砲兵旅團、山砲兵大隊、重砲兵隊、交通兵隊及輜重兵大隊ヲ參加セシムルコトアリ

問 特別大演習ヲ行フ年限並ニ其ノ日數ヲ述ヘヨ

答 特別大演習ハ概ネ毎年一回之ヲ行フモノニシテ其ノ日數ハ四日間トス

但シ要スレハ一日ヲ増減スルコトアリ而シテ演習期日ノ一部ニ於テ對抗演習ニ代へ假設敵演習ヲ行フコトア

二十三

リ

問 特別大演習ノ統監ヲ問フ

答 特別大演習ハ 天皇親ラ之ヲ統監シ勅命セラル、大
(中)將ヲシテ軍ノ指揮ヲ執ラシム

特別大演習ハ勅命ニ依リ參謀總長之ヲ統監スルコトア
リ

第三篇 秋季演習ノ計畫及實施

第一章 演習ノ審判

一 審判官ノ任命及服務

問 審判官及其他ノ統監部職員ヲ任命スル者並ニ其ノ任命者ノ
此際必要ニ應シ心得ヘキ事項ヲ問フ

答 審判官及ヒ其他ノ統監部職員ハ統監之ヲ命ス而シテ之
カ爲メ要スレハ當該職員タルヘキ者ノ所管長官ト豫メ
協議スルモノトス

問 審判官ノ任務ヲ述ヘヨ

答 審判官ハ

一、統監ニ隸シ

二、專ラ典令範ノ原則ヲ基礎トシテ各部隊ノ動作ヲ監

察シ

三、之ニ實戰的感想ヲ與ヘ

四、要スレハ機ヲ失セス勝敗ノ判決ヲ爲シ之レカ實施ニ關シ所要ノ件ヲ命シ

五、且ツ其實施ヲ監視スルヲ以テ任トス

問 審判官ヲ命スヘキ者ノ階級及之ニ附スヘキ者並ニ配屬スヘキ物件ヲ問フ

答 審判官ハ

一、通常將官及佐官中ヨリ任命シ

二、所要ニ應シ陪從官及傳令騎兵等ヲ附ス

三、時宜ニ依リ電信、電話、自働車其他ノ交通機關ヲ

配屬スルコトアリ

問

陪從官ヲ任スル者ノ階級並ニ其ノ任務及權限ヲ説明セヨ

答 陪從官ハ

一、通常尉官ヨリ任命スルモノニシテ

二、審判官ヲ輔佐シテ諸般ノ情況ニ通曉セシムルコトヲ圖リ且ツ命令通報及報告等ヲ傳達スルヲ以テ任トシ

シ

三、審判權ヲ有セサルモノトス

但シ時宜ニ依リ統監及審判官ハ之ニ一部ノ審判ヲ委スルコトアリ

問 審判官判決下達上ノ要件ヲ問フ

答 凡ソ審判官ノ判決ハ

一、専ラ公平無私ヲ旨トスルコト

二、且ツ明確直截ナルコト

而シテ演習ニ於テ現出スル百般ノ情況ニ應シ一々之力
判決ノ法則ヲ設タルヲ得サルヲ以テ審判官ハ時ニ臨ミ
テ自己ノ所信ニ基キ斷乎タル判決ヲ下スヲ要ス

問 審判官ノ判決ト其ノ取消ハ誰カスルヤ

答 凡テ審判官ノ判決セル事項ハ統監ニアラサレハ

一、之ヲ變更スルコト

二、若クハ取消スコト

ヲ得サルモノトス

問 審判官ノ下セシ判決ノ權能並ニ之レニ對シ服從ノ義務如何

答 審判官ノ判決ハ統監ノ命令ト同一ノ權能ヲ有ス故ニ縱

ヒ審判官ヨリ上級ノ者ト雖モ其判決ニ服從スヘキモノ
トス

二、審判上ノ要則

問 志氣ノ振否軍紀ノ張弛ニ關シ審判上心得ヘキ要件ヲ問フ

答 志氣ノ振否及軍紀ノ張弛トハ演習ノ判決上特ニ顧慮ス
ヘキ要件トス然レトモ此影響ハ演習ニ於テ之ヲ認識ス

ルコト甚々難シ唯

一、軍隊ノ潑測タル元氣

二、及諸動作ノ嚴格ニシテ且ツ命令實施ノ正確ナル所
ニ於テ之ヲ看ルヘキノミ

問

歩兵ノ射擊效力判定ニ關シ心得ヘキ要件ヲ述ヘヨ

答 歩兵ノ射擊效力ハ

一、敵ノ遠近 二、距離測定ノ適否

三、照尺ノ選定

四、目標ノ種類及其附近ノ地形

五、彼我關係位置

六、兵力、火力ノ分配及射擊方法

七、射擊軍紀

八、並其ノ射擊敵ノ意表ニ出テシヤ否ヤ

等ヲ考慮シ概ネ左ノ要領ニ依リ判定スルモノトス
一、暴露セル歩兵ノ密集部隊ハ

1. 約千五百米ノ距離ヨリ已ニ大ナル損害ヲ受ケ
2. 八百乃至千米ノ距離ニ至レハ我散兵ノ火力敵ニ
優ル時ニ限リ散兵線ノ後方ニ於テ短時間駐止シ又
ハ少シク側方ニ移動スルコトヲ得ルモ
3. 已ニ八百米以内ニ達スレハ縱ヒ我散兵線ノ火力
敵ニ優ル時ト雖モ迅速ナル歩度ヲ以テスルニ非サ

レハ前進及退却ノ運動ヲ爲ス能ハサルモノトス
4. 暴露セル散兵ハ

イ、約千五百米ノ距離ヨリ已ニ大ナル損害ヲ受ケ
ロ、又八百米以内ノ距離ニ在リテハ通常連續セル
前進運動ヲ爲シ得サルモノトス

二、暴露セル騎兵ノ密集部隊ハ

1. 約千五百米ノ距離ヨリ已ニ大ナル損害ヲ受ケ
2. 又八百米以内ノ距離ニ在リテハ襲撃ノ時ニ限り
暴露スルコトヲ得ルモ
3. 其他ノ場合ニ於テ遮蔽物ヲ利用セスシテ此距離

以内ニ於テ

イ、運動シ　　ロ、又ハ駐止スルトキ
ハ騎兵ノ不利トス

三、暴露シテ運動スル砲兵ハ

1. 約千五百米ノ距離ヨリ已ニ大ナル損害ヲ受ケ迅
速ナル歩度ヲ以テ短少時間ノミ前後ニ運動スルコ
トヲ得
2. 又八百米以内ノ距離ニ在リテハ唯臂力ヲ以テ小
距離ノ移動ヲ爲シ得ルノミ
而シテ繫駕及脱駕ハ極メテ困難ニシテ時トシテハ不可

能ニ歸スルモノトス

問 機関銃ノ射撃效力判定上必須ノ要件ヲ説明セヨ

答 機関銃ノ射撃效力ヲ判定スルニハ概ネ歩兵ニ就テ示セル要領ニ準スヘシト雖モ好機ニ乘シ巧ニ使用セラレタルトキハ往々其效力著大ナルコトアルニ顧慮スヘシ

問 騎兵ノ下馬シテ行フ射撃效力ノ判定上必須ノ要件如何

答 概ネ歩兵ニ就テ示セル要領ニ準スルモノトス

問 砲兵ノ射撃效力判定上必須ノ要件ヲ問フ

答 砲兵ノ射撃效力ハ

一、遮蔽物ニ依リ敵ニ接近シテ其ノ不意ニ出テシヤ否

ヤ

二、及放列位置ノ價值

三、並射距離若クハ方向ノ測定ニ著眼シ
且ツ

一、試射ノ難易

二、目標ノ遠近、大小、疎密、動靜

三、及其用フル射法、彈種、射撃時間及速度

四、敵銃砲火ノ爲メニ生スル死傷及破壊

等ヲ考慮シ概ネ左ノ要領ニ據リ判定スルモノトス

但シ已ニ試射ヲ終リタル他ノ砲兵隊ヨリ精密ニ距離ヲ

聞知シタルトキハ通常第一發ヨリ效力アルモノト看做シ否サルトキハ試射向ハ效力ナキモノトス

一、1. 步兵ノ散兵ハ砲兵火ニ暴露シアルトキハイ、約千五百米ノ距離ヨリ已ニ大ナル損害ヲ受ケロ、千米以内ノ距離ニ在リテハ唯駆歩ヲ以テ一舉ニ百米内外ノ距離ヲ前後ニ運動シ得ルニ過キサルモノトス

2. 步兵ノ密集部隊ハ三千米以内ノ距離ニ於テハ暴露シテ高キ姿勢ヲ取り長ク停止スルコト困難ナルモノトス

二、騎兵ノ密集部隊ハ地形ノ掩護ニ依ルニ非サレハ

1. 二千米以内ニ於テハ駆歩
2. 六百米以内ニ於テハ更ニ一層急速ナル步度ヲ用フルトキノ外運動シ能ハサルモノトス

三、砲兵對戰ノ效力ハ

1. 阵地ノ選定
 2. 射法
 3. 砲數ノ多少
 4. 及他兵種ノ協力如何
- ニ關係ス又距離ノ短縮スルニ從ヒ砲數ノ多少ハ其威力ニ影響スルコト頗ル大ナルモノトス若シ放列ヲ布置スルニ先チ敵ノ射撃ヲ受ケタルトキハ前車ノ離脱

困難ナルモノトス

四、砲兵ノ斜射及側射ハ著大ナル效力アルモノトス
以上ハ野砲ニ就テ示スモノナリ故ニ山砲、騎砲又ハ重
砲ニ在リテハ適宜之ヲ酌量シテ判定スヘキモノトス

問 突撃ノ結果ヲ判定スル爲メ必須ノ要件ヲ述ヘヨ

答 突撃ノ結果ヲ判定スルニハ

一、第一ニ其突撃準備ノ爲メ行ヒタル歩砲兩兵火ノ效
力如何ニ注意シ

二、次ニ彼我ノ兵力及突撃ノ際用ヒタル

1. 新銳ナル兵力ノ比較
2. 突撃實施ノ方法
3. 突撃部隊ノ状態
4. 之ニ對スル敵軍ノ動作
5. 及地形ノ利害

ヲ考察シ

三、尙突撃ハ

1. 敵ノ弱點ニ向ヒテ行ハレタルヤ
2. 又ハ敵ノ翼側ヲ包圍セシヤ

等ヲ顧慮スルコト必要ナリ

問 騎兵ノ襲撃ノ結果ヲ判定スル爲メ必須ノ要件ヲ問フ

答 騎兵襲撃ノ結果ハ

一、彼我ノ兵力、隊形、速力

二、襲撃實施ノ方法

三、近接ニ在ル彼我兩軍ノ状態

四、及地形ノ關係

等ヲ考慮シ概ね左ノ要領ニ據リ判定スルモノトス而シテ襲撃其效ヲ奏セシトキハ其ノ效果ノ程度ヲモ判定スルヲ要ス

一、歩兵ニ對スル襲撃ハ當時ニ於ケル歩兵ノ状態ニナル關係ヲ有ス

1. 沈著ナル歩兵ニ對シテハ

イ、地形ニ依リ掩護セラレテ之ニ接近シ

ロ、又ハ其ノ不意ニ出ツル

ニアラサレハ殆ト效力ナキモノトス

2. 又敵ノ歩兵

イ、俄ニ隊形ヲ變セントシ射擊ヲ爲シ能ハサルカラ、若クハ其ノ效力微弱ナル瞬間ニ乘シタルトキハ歩兵ノ不利トス

二、1. イ、敵騎兵ノ展開ヲ終ラサルニ先チ之ヲ襲撃シタルトキハ縱ヒ兵力劣勢ナリト雖モ勝ヲ得タルモノトシ

ロ、若シ之ニ反シ指揮官機ニ投シテ其ノ兵力ヲ用

ヒサレハ縦ヒ其兵力優勢ナルモ效力ヲ現ハスコト能ハサリシモノトス

2. 騎兵ノ騎兵ニ對スル襲撃ニハ

イ、隊伍ノ集結ト ロ、衝突ノ猛烈ト
ニ大ナル價值ヲ置クヘシ而シテ包圍ハ更ニ大ナル效力ヲ加フルモノトス

3. 1.

運動中ノ砲兵ハ他ニ之ヲ掩護スル部隊ナキトキ騎兵ノ襲撃ヲ受クレハ全ク抵抗力ナキモノトス

2. 又射撃中ノ砲兵ニ對スル騎兵ノ襲撃ハ

イ、其ノ依托ナキ側面又ハ背面ヨリ巧ニ施行セラ

レタルトキハ效力アルモノトシ

ロ、正面ヨリ施行セラレタルトキハ效力ナキモノトス

1. 但シ正面襲撃ト雖モ

イ、重疊セル隊形ヲ以テ巧妙ニ行ハレタルトキ
ロ、若クハ地形ヲ利用シテ近距離ヨリ不意ニ實施セラレタルトキ

ハ必シモ不成功ニ終ルモノニ非サルモノトス

問

航空機ニ對スル射撃效力ノ判定上必須ノ要件ヲ説明セヨ。

答 航空機ニ對スル射撃效力ハ

一、航空機ノ

1. 種類

2. 射距離

3. 並其測定ノ良否

二、射擊部隊ノ

1. 種類 2. 射擊法 3. 發射彈數ノ多寡

三、航空機ノ飛行高度

四、並飛行情態

ヲ考慮シ概ね左ノ件ヲ基準トシ判定スルモノトス

一、小銃射擊（機關銃射擊ヲ含ム）ニ在リテハ快晴ナル天候ニ於テ

1. 千五百米以上ノ高度ニ於テハ効力少ク漸次高度ノ低下ニ伴ヒ效力増大シ
 2. 千米以下ノ高度ニ於テ其效力甚大ナリ
- 二、砲兵射擊（野山砲及野戰重砲射擊）ニ在リテハ曳火榴霰彈ノ效力範圍内ニ於テ射擊特ニ容易ナル場合ニ限り損害ヲ與フルコトヲ得

第一二章 講評

講評ノ着眼點ヲ問フ

答 一、講評ハ常ニ

問

1. 適切ナル着眼點ヲ把持シ
2. 典令範ノ條項ト戰史ノ實例トニ照合シ
3. 教訓ノ意ヲ以テ實施シ

不要ナル比責ヲ避クヘキモノトス

二、講評ハ活氣ヲ帶ヒ教訓ニ富ミ能ク疲勞セル演習員ヲシテ最後ノ一語ニ至ル迄傾聽セシムル如クスルヲ要ス

問

指揮官ノ軍隊指揮ニ關スル講評ニ於テ特ニ着眼スヘキ要點ヲ舉ケヨ

答 左ノ如シ

- 一、情況判断ノ適否
- 二、命令及其下達法ノ適否
- 三、決心ノ確否及處置ノ適否
- 四、行動及態度ノ良否
- 五、指揮ノ巧拙

問

軍隊一般ニ關スル講評ニ於テ特ニ着眼スヘキ要點如何

答 左ノ如シ

- 一、對敵觀念ノ盈虧及志氣ノ振否
- 二、命令實施ノ確否及軍紀ノ嚴否
- 三、團結ノ良否

四、協同動作及獨斷專行ノ適否

五、典令範諸規定應用ノ適否及實施ノ確否

問 善良適切ナル行爲並ニ之ニ反スルトキ之ヲ講評スルニ當リ必要ナル心得ヲ説明セヨ

答 講評ヲ爲スニ方リ

一、善良適切ナル行爲ヲ認識シタルトキハ之ヲ賞讃シテ益々其ノ向上發達ヲ促シ

二、之ニ反スル者ニ在リテハ特ニ留意シテ深ク實情ヲ究メ懇切ニ之ヲ教誨指導スルヲ要ス

而シテ

問

講評ヲ爲スニ當リ怠慢不熱心等ヨリ生スル過誤ハ決シテ之ヲ看過スルコヘキ件ヲ述ヘヨ

答 怠慢不熱心等ヨリ生スル過誤ハ決シテ之ヲ看過スルコトナク其ノ程度ニ應シ

一、之ヲ指摘詰責シ

二、若クハ一般ノ訓誡ニ資センカ爲メ嚴正ナル非難ヲ加ヘ

チ悔悟猛省セシムルヲ圖リ尙要スレハ其責任ヲ明カニ
セシムル方法ヲ講スヘキモノトス

第二章 行李及輜重

問 行李及輜重ノ編成ノ方法ヲ問フ

答 行李及輜重ハ

一、定規ノ人馬材料若クハ地方車馬ヲ以テ編成シ
二、或ハ兩者ヲ併用スルモノトス

問 行李及輜重車馬ノ種類及員數ハ各團隊同一ナルヲ要スルヤ
又各團隊ノ携行スヘキ員數ハ誰レカ定ムルヤ

答 各團隊同一ナルヲ要セス而シテ各團隊ノ携行スヘキ員
數ハ統監（特別大演習ニ在リテハ參謀總長）之ヲ定ム
ルモノトス

問 行李輜重ノ進退ヲ述ヘヨ

答 凡ソ行李輜重ハ作戰命令ニ基キ進退スヘキモノナルモ
其時ノ景況ニ依リ統監ヨリ下ス命令ニ從ヒ別ニ進退セ
シムルコトアリ

問 行李輜重車馬ノ積載法其ノ他裝備及携帶糧秣ノ携帶法如何

答 一、行李並輜重車馬（通信器材ヲ含有ス）ノ積載法其
他裝備ハ特別ノ目的アルモノヲ除クノ外總テ規定ノ

装置法ニ依ルモノトス

二、携帶糧秣ノ携帶法モ亦然リ

問 行李輜重ノ積載物件ニ關シ心得置クヘキ事項ヲ問フ

答 一、平時ノ事情ニ依リ充實シ得サル積載物件ハ適宜ノ方法ヲ以テ其重量ヲ定量ニ充タサシムヘキモノトス

二、積載ノ物件ハ勉メテ實戰ノ如ク之ヲ應用スルモノトス

問 演習ニ方リ各團隊ノ携行スヘキ行李輜重中地方車馬ヲ以テ編成スルモノニ關シ其ノ數ノ決定上心得ヘキ件如何

答 勉メテ其數ヲ減少スルヲ要ス

問 地方車馬ヲ以テ編成セシ行李輜重ノ指揮及行動如何

答 定規ノ行李輜重ニ準スルモノトス

問 編制上ノ行李輜重ト全ク關係ヲ異ニセル酒保等ノ行動ニ關シ必要ナル件ヲ問フ

答 通常行李輜重ニ屬シテ行動スルモノトス

問 但シ演習間特ニ統監ヨリ下ス命令ニ從ヒ別ニ進退セシムルコトアリ

問 定規ノ人馬材料ノミヲ以テ演習部隊ノ行李輜重ノ全部ヲ編成シ得ルヤ並ニ此際注意スヘキ件如何

答

編成シ能ハサル場合多シ故ニ之ヲ各部隊ニ平等ニ配當スルコトナク某部隊若クハ一方軍ノ行李輜重ヲ全部定期ノ人馬材料ヲ以テ編成スルトキハ其ノ效果大ナリトス

第四章 宿營

問

宿營法ニ關シ心得ヘキ諸件ヲ問フ

答

各演習期初日ノ前夜ニハ通常各部隊ヲ露營セシメサルモノトス

但シ搜索及警戒ノ勤務ニ服スル部隊ハ此限りニアラス
演習間ニ於ケル宿營法ハ戰況ニ應シ各級指揮官ノ定ム
ル所ニ依ルモノトス

第五章 通信

問

軍用、電信若クハ電話ヲ國用電信若クハ電話ト連絡スヘキトキノ處置ヲ問フ

答 當該司令部ヨリ演習地附近ニ在ル通信官署ニ協議スヘ

キモノトス

問

電報ノ交換ヲ容易ナラシメンカ爲メ軍用通信所ヲ設クル地點ヲ問フ

答 軍用通信所ハ國用ノ通信所内若クハ之ニ接近セル地點ニ設クルヲ可トス

問 國用通信吏員ト密接ニ交通スヘキ軍用通信員ノ義務如何
答 公衆通信ノ秘密ヲ嚴守スルノ義務ヲ有スルモノトス

第六章 信 號

問 信號ノ用途ヲ問フ

答 信號ノ爲メニハ號音ト氣球若クハ煙花ヲ併用シ或ハ單ニ號音ノミヲ用ユルモノトス

問 信號ハ誰レノ命ニ依リテ行フヤ

答 信號ハ統監ノ命ニ依リテ之ヲ行フモノトス
問 信號ヲ見聞シタル將校ノ處置ヲ説明セヨ

答 一、號音ノミヲ用フルト

二、之ト氣球若クハ燈花ヲ併用スルト

ニ論ナク之レヲ見聞シタル將校ハ其ノ附近ニ在ル喇叭手ヲシテ直チニ之ニ應スル號音ヲ遞吹セシムヘキモノトス

問 號音及氣球ノ信號ノ區別ヲ述ヘヨ

答 其ノ區別左ノ如シ

一、演習中止

1. 「氣ヲ着ケ」「止レ」ノ號音、又ハ
2. 氣球ノ尾端ニ赤球一箇ヲ掲ク

二、休憩

1. 演習中止後「休メ」號音、又ハ

2. 氣球ノ尾端ニ赤球一箇及赤色圓錐筒一箇ヲ掲ク

三、將校集合

1. 「將校集レ」ノ號音、又ハ

2. 氣球ノ尾端ニ赤球二箇ヲ掲ク

四、兩軍指揮官集合

1. 「將校集レ」ノ次ニ一聲ノ號音又ハ

2. 氣球ノ尾端ニ赤球二箇及赤色圓錐筒一箇ヲ掲ク

五、演習再興

1. 「氣ヲ著ケ」「前ヘ」ノ號音、又ハ

2. 氣球ノ尾端ニ赤球三箇ヲ掲ク

六、解散

1. 「解レ」ノ號音又ハ

2. 氣球ノ尾端ニ赤球三箇及赤色圓錐筒一箇ヲ掲

ク

問

煙花ヲ以テスル信號ニ就テ説明セヨ

答 煙花ヲ以テスル信號ハ氣球ニ準スルモノトス

問

答 演習中止ノ信號アリタルトキ演習部隊ノ動作ヲ問フ

答 演習中止ノ信號アリタルトキハ演習部隊ハ單獨ノ斥候及散兵等ニ至ルマテ現在ノ姿勢ト隊形トヲ變スルコトナク嚴ニ其ノ位置ニ停止スヘシ而シテ別命ナクシテ其儘休憩スルコトヲ得但シ

一、水中ニ停止スル等著シク衛生上有害ノ状態ニ在ル者

二、若クハ道路上ニ停止スル等

一般交通ヲ妨碍スル者ニ限リ戰術上差支ナキ範圍内ニ於テ若干其位置ヲ變更スルコトヲ得此場合ニ在リテハ

之ヲ附近ノ審判官ニ届告スルヲ要ス

問

答 演習中止間演習部隊ノ心得ヘキ事項ヲ述ヘヨ

答 演習中止間ハ統監ヨリ別命ナケレハ演習部隊ハ作戰ニ關係スル命令、報告、通報等ノ傳達ヲ禁ス之カ爲メ傳令ノ往復ハ勿論電信電話等ヲモ使用ス可カラサルモノトス

問

答 休憩ノ信號アルトキ徒步兵乘馬兵散兵等ノ動作ヲ説明セヨ

答 休憩ノ信號アルトキハ徒步兵ハ叉銃シ乘馬兵ハ下馬シ其ノ位置ニアリテ休憩スルモノトス而シテ散兵ニ在リテハ分隊毎ニ併合スルコトヲ得

問

將校集合ノ信號アリタル時將校同相當官ノ動作如何

答

將校集合ノ信號アリタル時ハ豫メ特別ノ指定アルトキ
ノ外總テノ將校（聯隊旗手ヲ除ク）同相當官ヘ速ニ統

監ノ許ニ集合スルモノトス

問

兩軍指揮官集合アリタルトキ兩軍指揮官及審判官ハ如何ニ
動作スルヤ

答

兩軍指揮官集合ノ信號アルトキハ兩軍指揮官及所要ノ
審判官ハ統監ノ許ニ集合スヘキモノトス而シテ何レノ
審判官ニ至ル迄集合スヘキヤハ豫メ統監ヨリ指示シ置
クヲ要ス

問

演習再興ノ信號アリタルトキノ動作ヲ問フ

答

演習再興ノ信號アルトキハ演習ヲ再興ス

問

演習再興ノ信號ヲ爲ス時期ヲ問フ

答

此信號ハ統監ノ許ニ集合セシ將校等ノ各部隊ニ歸著シ
タル時期ヲ計リ之ヲ爲スモノトス

問

解散ノ信號ニ依リ各團隊ノ爲スヘキ動作ヲ述ヘヨ

答

解散ノ信號ハ演習ノ一段落又ハ終結ヲ報スルモノニシ
テ此ノ信號ニ依リ各團隊ハ各々其宿營若クハ豫定ノ地
ニ赴クヘキモノトス

第七章 標識

一 統監部ノ標識

問 統監部ノ所在ヲ示ス爲メノ標識如何

答 一、統監部ノ所在ヲ標示スル爲メ

1. 統監部旗ヲ用ヒ

2. 夜間ニ在リテハ燈火ト共ニ之ヲ掲クルモノトス

二、1. 演習部隊小ナルカ

2. 若クハ演習ノ構成上標示ノ必要ヲ認メサル場合ニハ此旗ヲ用フルコトナシ

問 統監部ニ屬スル者ノ標識ヲ問フ

答 統監部ニ屬スル者ハ幅十珊米ノ白布ヲ左腕ニ纏フ但シ雨覆ヲ着シタルトキハ幅約十珊米長サ約二十珊米ノ白布ヲ外面相當部ニ附スルモノトス。

問 監督ノ爲メニ臨場スル長官及其隨從者若クハ監督長官ノ命ニ依リ臨場セル者ノ標識ヲ説明セヨ

答 統監部員ニ準シ白布ヲ附スルモノトス

問 師團對抗演習及特別大演習ニ於テ高級審判官ノ位置又ハ宿舍ヲ標示スル爲メノ處置ヲ問フ

答 一、審判官旗ヲ用ヒ

二、夜間ニ在リテハ燈火ト共ニ之ヲ掲クルモノトス

二、中立者及陪觀者ノ標識ヲ説明セヨ

問 中立者及陪觀者ノ標識

答 一、1. 中立者ハ黃色

2. 陪觀者ハ赤色

ノ幅約十珊米ノ布片ヲ左腕ニ纏フ

但シ雨覆ヲ着シタルトキハ幅約十珊米ニ長サ約二十珊米ノ同色布ヲ外面相當部ニ附スルモノトス

二、中立者及陪觀者中特ニ他ト區別スルノ必要アル者

ニハ

1. 前條ノ布片ニ臨時定ムル記號ヲ附シ

2. 又ハ種別等ヲ記入スルモノトス

三、射擊ニ關スル標識

問 目標旗及射向旗ノ用途ヲ問フ

答 機關銃及砲兵カ如何ナル目標ニ向ヒ射擊シアルヤヲ標示スルタメ其ノ射擊目標及射擊方向ニ應シ目標旗及射向旗ヲ併用スルヲ可トス

問 機關銃及砲兵ノ目標旗ノ構造並ニ其ノ使用ノ方法ヲ述ヘヨ

答 目標旗ハ

一、機關銃ニ在リテハ方約五十珊米

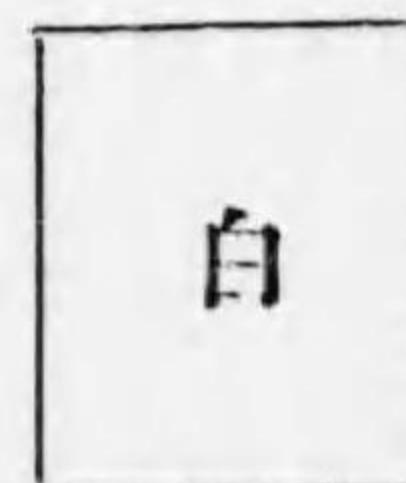
二、砲兵ニ在リテハ約一米

ノ框ニ左ノ四種ノ色布ヲ任意緊張シ得ル如ク構造シ之ヲ長サ約二米乃至二米七十ノ桿ニ附著セルモノニシテ陣地中望見シ得ヘキ地點ニ植立シ密集部隊ニ對シ射擊スルコトヲ表ハス爲メニハ之ヲ左右ニ振動スルモノトス

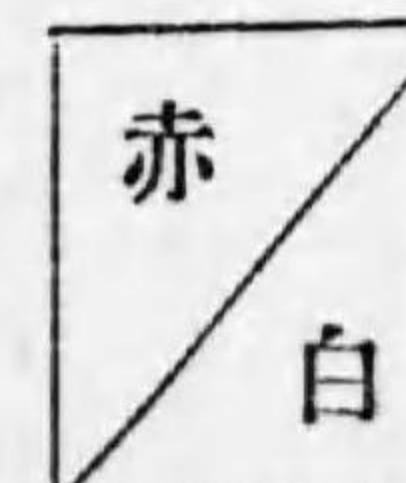
歩兵ヲ射撃スル時



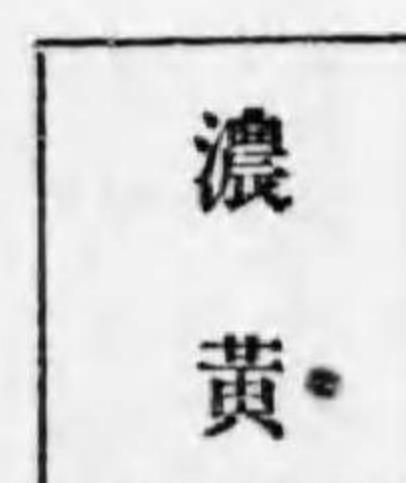
騎兵ヲ射撃スル時



機關銃ヲ射撃スル時



砲兵ヲ射撃スル時

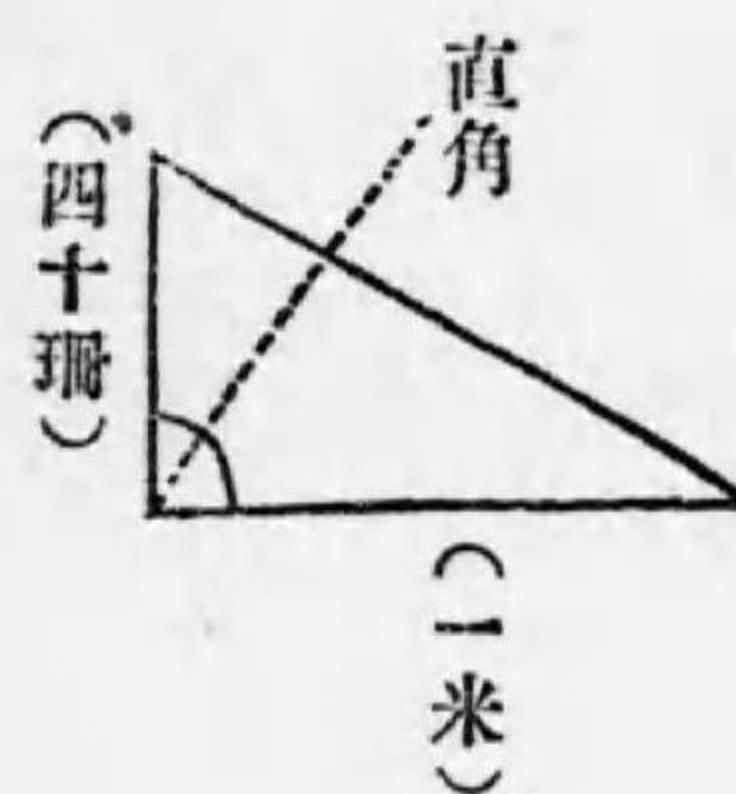


問

機關銃ノ射向旗ノ構造植立ノ方法並ニ之レカ植立セラレテアル間目標旗ト相關シ如何ニ射撃シツ、アルヘキヤノ標示

如何

答 機関銃ノ射向旗ハ左圖ノ如キ白色ノ三角旗ニシテ目標旗ノ後方約三十米ニ旗面ヲ敵方ニ向ハシムル如ク植立スルモノニシテ目標旗トノ延線上ニ在ル部隊及其左右若干ノ部分ハ射撃ヲ受ケツ、アルヲ示ス



問 砲兵ノ射向旗ノ構造植立ノ方法並ニ之レカ植立中ハ如何ニ射撃シツ、アルヤノ標示ヲ問フ

答 砲兵ノ射向旗ハ幅約四十珊瑚米長サ約一米十ノ長方形框ヲ長サ約二米ノ桿ニ附着シ白布ヲ緊張シタルモノニシテ通常目標旗ノ前方約三十米ニ植立シ目標旗トノ延線上ニ在ル部隊ハ其射撃ヲ受クルモノトス此ノ際火制正面ヲ指示スル爲メ要スレハ射向旗二本ヲ使用シ之ト目標旗トノ延線内ニ含マル、面ヲ火制シアルコトヲ示シ場合ニ依リ目標旗ノ後方ニ射向旗ヲ植立スルコトヲ得然ルトキハ目標旗ニ隠蔽セラレサルコトニ注意スヘ

問

目標旗及射向旗ノ植立ニ際シ敵ニ位置ヲ發見セラレサル爲メ必要ノ注意ヲ述ヘヨ

答 目標旗及射向旗植立ニ際シテハ之カ爲メ過早ニ其ノ部隊ノ位置ヲ敵ニ發見セラレサルコトニ注意シ遮蔽陣地ニ在ルモノハ適宜其ノ植立位置ヲ變更スルヲ要ス

問 演習ニ出場スル機關銃隊及砲兵ノ携行スヘキ目標旗及射向旗ノ數ヲ問フ

答 演習ニ出場スル

一、機關銃ハ一小隊ニ目標旗射向旗各一旒宛

二、砲兵ハ一中隊ニ目標旗一旒射向旗二旒宛ヲ携行スルモノトス

問 演習ニ出場スル際損傷旗ヲ携行スル部隊同旗ノ數並ニ構造ヲ説明セヨ

答 一、演習ニ出場スル歩兵、騎兵、砲兵及工兵中隊、機關銃小隊ハ損傷旗一旒宛ヲ携行スヘシ

二、此旗ハ

1. 兩面白色ニシテ中央ニ黒色ノ十字ヲ畫シ
2. 其大サハ歩兵、騎兵、工兵及機関銃ニ在リテハ方約五十珊米砲兵ニ在リテハ方約七十珊米トシ

3. 黒色十字線ノ太サハ前者ニ在リテハ十珊米後者ニ在リテハ十五珊米トシ共ニ框ヲ以テ緊張シ

4. 其ノ旗桿ノ長サハ歩兵、騎兵、工兵及機關銃ニ在リテハ約一米、砲兵ニ在リテハ約二米五十トス

問 損傷旗ヲ植立スル方法ヲ問フ

答 損傷旗ヲ植立スルニハ部隊ノ姿勢ニ應シテ人頭ノ上部ニ旗框ヲ認メ得ル如ク適宜高低ヲ規正スルモノトス

四、兩軍ノ識別及假設部隊ニ關スル標識

問 演習ニ際シ兩軍ノ識別法ヲ説明セヨ

答 一、演習ニ際シテハ一方軍ハ白帶ヲ以テ帽ノ鉢巻ヲ覆

フモノトス

二、演習ニ出場スル將校以下ハ白帶ヲ携行スヘキモノトス

問 假設部隊ヲ標示スル爲メノ標識ヲ述ヘヨ

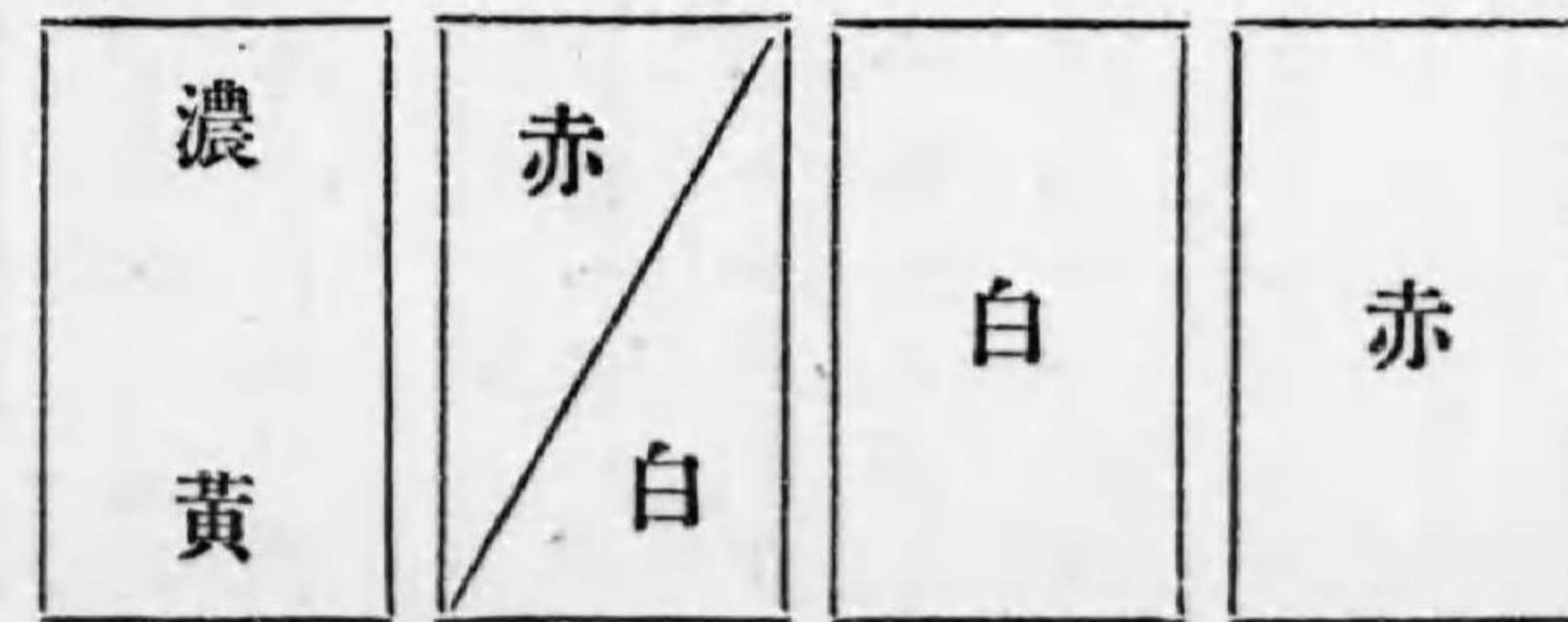
答 一、假設部隊ヲ標示スル爲メニハ標旗ヲ用フ此ノ標旗ハ縦約八十珊米、横約六十珊米ノ布片ヲ長サ約二米ノ桿ニ附着スルモノニシテ布片ハ左ノ色別ヲ以テ兵種ヲ標示スルモノトス

步 兵

騎 兵

機關銃(歩兵騎兵共)

野(山)(騎)砲兵



重砲 兵



砲兵段列ヲ假設スルニハ砲兵段列旗ヲ用ユ

- 二、1. 假設部隊ハ標旗ヲ携ヘタル兵卒ノ外所要ニ應シ最少限ノ人馬材料ヲ附スルモノトス

2. 時宜ニ依リ標的ヲ以テ敵ヲ標示シ或ハ之ヲ標旗ト併用スルヲ利トスルコトアルモノトス

演習ニ出場スル歩砲騎兵並ニ機關銃隊ノ携行スヘキ標旗ノ

規定如何

答 演習ニ出場スル

一、歩兵及砲兵ハ一中隊ニ一旒宛

二、騎兵及機關銃隊ハ一小隊ニ一旒宛

各々自己ノ兵種ニ應スル標旗ヲ携行スヘキモノトス

五、假設工事ニ關スル標識

問 假設工事ニ關スル標識ニ必要ナル諸件ヲ問フ
答 一、假設工事ハ其種類ニ應シ適宜標識ヲ設クルモノトス

ス

二、凡ソ假設工事ヲ標示スルニハ

1. 單ニ標識ヲ設クルニ止ムルコトナク偵察、經始

及器具ノ分配、兵卒ノ配置等ハ必ス之ヲ實施スルコト

2. 又工事ノ種類ニ依リ爲シ得レハ其一部分ヲ實施シテ全般ノ構造等ヲ表示スルコト

3. 若クハ情況ノ許ス限リ實物ニ近似セル工事ヲ行フヲ利アリトルコト

三、標識ト共ニ其附近見易キ地點ニ

1. 工事ノ種類、方法
2. 作業開始時刻及完成推定時刻
3. 使用人員、器材

等ヲ掲示スヘシ而シテ作業ニ要スル人員ハ作業完成推定時刻迄作業地ニ位置スルコト

4. 又標識及掲示ヲ終レハ直チニ之ヲ統監若クハ附近ニ在ル審判官ニ通報スルコト

第八章 禁制及注意

問

演習ニ當リ嚴守スヘキ各種ノ禁制及注意事項ヲ列舉セヨ

- 答 一、1. 服装ヲ變シテ敵線内ニ潜入シ
2. 或ハ地方吏民ニ就テ敵情ヲ探知スルコトヲ禁スルコト

二、空包發火ヲ爲スニ方リテハ左ノ諸件ヲ嚴守スルコト

1. 敵ヲ距ルコト
イ、小銃ハ五十米
ロ、機關銃ハ百米
ハ、火砲ハ二百米
以内ニ於テ發火ス可カラサルコト
2. 航空機ヲ距ルコト
イ、小銃ハ百米
ロ、機關銃ハ二百米

ハ、火砲ハ三百米以内

ニ於テ發火ス可カラサルコト

3. 前二項ノ規定以内ノ距離ニ於テ射擊スルトキ
ハ單ニ其動作ヲ爲スノミニシテ空包ヲ用フ可カ
ラサルコト

但シ小銃及機關銃ニ在リテハ警報ノ爲メ又ハ夜
間等ニシテ已ムヲ得ス規定以内ニ於テ發火セン
トスルトキハ充分銃口ヲ天空ニ向ケ發射スルモ
ノトス之カ爲メ機關銃ニ在リテハ三十度以上ノ
射角ヲ採リ得ル如ク所要ノ設備ヲナスモノナル

コト

三、1. 突撃又ハ襲撃ニ方リテハ兩軍二十米以内ニ接
近スルヲ禁スルコト

但シ堅固ナル陣地ノ攻防等特種ノ演習ニ限り統
監ノ規定ニ依リ此距離以内ニ接近セシムルコト
ヲ得而シテ一般ノ場合二十米ニ接近シ審判官其
場ニ在ラサルトキハ兩軍ハ停止シテ近傍ニ在ル
審判官ニ届告シ其ノ判決ヲ待ツコト

2. 審判ヲ待ツ爲メ戰鬪ヲ中止セル部隊ニ對シテ
ハ突撃又ハ襲撃ヲ行フ可カラサルコト

四、前二條ノ外危害ヲ豫防スル爲メ左ノ諸件ニ注意ス
ルコト

1. 航空機ヲ距ル百米以内其他凡テ火災ノ虞アル
場所ニ於テ發火若クハ喫烟ス可カラサルコト
2. 移動式運用無線電信所開設中ハ通信所ニ必要
アル者ノ外無線電柱ノ周圍百米以内ニ接近ス可
カラサルコト
3. 航空機着陸場ニハ關係者ノ外ハ百五十米以内
ニ接近ス可カラス

五、1. 社寺及墓地ノ境域ハ之ヲ尊重スルコト

2. 又苗圃、砂防工事、植林セル稚樹及果樹園等
ハ特ニ之カ保護ニ注意スルコト
3. 又道路、橋梁、建築物、堤防、牆壁等ノ破壊
及貴重ナル樹木ノ伐截、牆壁ノ改造等ハ之ヲ實
施スルヲ禁スルコト

六、鐵道線路ハ

1. 踏切以外ニ於テ之ヲ横断シ
2. 又ハ線路上ヲ通行スルヲ禁スルコト

七、鐵道沿線殊ニ停車場附近ニ於テ

1. 假設旗

2. 目標旗
3. 手旗及小笛

ヲ使用スル場合ニ在リテハ之カ爲メ鐵道業務ヲ妨碍セサルコトニ注意スルコト

八、凡テ軍用諸材料ハ敵軍ニ屬スルモノト雖モ其破壊ヲ實施スルヲ禁スルコト

九、敵兵ヲ捕獲シ命令、通報、報告等ヲ略取シ又ハ馬匹、器材ヲ奪取スルヲ禁スルコト

十、特ニ統監（特別大演習ニ在リテハ參謀總長）ヨリ許可セラレタルトキニ非サレハ鐵道及在來ノ電信、

電話ヲ作戦上ノ目的ノ爲メニ使用スルヲ禁スルコト

十一、統監部用及在來ノ各種電線路ニ演習部隊ノ電線ヲ添架スルヲ禁スルコト

十二、1. 夜間小隊以上ノ部隊ヲ以テスル戰鬪行動ハ豫メ統監又ハ審判官ノ承認ヲ經タル後ニ非サレハ實施スルヲ禁スルコト

2. 小隊以下ノ兵力ニ在リテモ交通線破壊等ノ特別任務ヲ以テ派遣スル場合ニハ豫メ審判官ニ通報スルヲ要スルコト

十三、1. 航空機相互ノ戰鬪行爲ヲ禁スルコト

2. 又故障ノ爲メ着陸セル航空機ハ之ヲ中立ト
スルコト

第九章 損害賠償

問 演習ノ爲メ生シタル損害ヲ賠償スル爲メノ手段ヲ問フ

答 演習ノ爲メ生シタル土地、耕作物等ノ損害ハ

一、所有主

二、若クハ其地ノ市町村長

ト協議シ之ヲ賠償スルモノトス若シ其ノ協議調ハサル
トキハ徵發令及徵發事務條例ニ示セル所ニ從ヒ評價委

員ヲ設ケテ之カ評定ニ任スヘキモノトス

問 演習ニ於テ生セシ損害ヲ迅速ニ賠償スルノ利並ニ直接賠償
ヲ行フ場合ヲ問フ

答 迅速ニ損害ヲ賠償スルハ圓滿ナル解決ヲ助成スルモノ
ナルコトニ留意シ勉メテ敏速ニ處置スルヲ要ス情況之
ヲ許セハ演習中現地ニ於テ直接賠償スルヲ可トス

問 演習部隊大ナル損害賠償ヲ要スルカ如キ工事等ヲ實施セン
トスル時ノ處置ヲ問フ

答 豫メ統監（特別大演習ニ在リテハ參謀總長）ノ承認ヲ
受クルモノトス

問 損害ヲ生セシメタル部隊直接之カ賠償ヲ行ハサル場合ニ於テ爲スヘキ處置ヲ説明セヨ。

答 此ノ如キ場合ニ於テハ損害ノ場所被害物ノ種類、面積、幅員又ハ員數、損害ノ程度（爲シ得レハ被害物所有者ノ住所氏名）損害ヲ生セシメタル理由、月日等ヲ調査シ速ニ

一、賠償ノ事務ニ任スル長官又ハ委員等ニ報告又ハ通報シ

二、證明書ヲ地方官（公）吏若クハ被害物所有者ニ交付スルモノトス

問 演習間軍隊工事ヲ實施シ若クハ已ムヲ得サル事情ノ爲メ術工物等ヲ損傷シタル場合爲スヘキ處置ヲ述ヘヨ

答 一、爲シ得レハ之カ復舊ノ手段ヲ講スヘシ此際要スレハ審判官ハ之カ復舊ニ任スル軍隊ヲ一時演習外ニ置クコトヲ得

二、場合ニ依リ復舊ノ爲メ却テ損害ヲ多大ナラシムルコトアリ故ニ爲シ得レハ復舊ニ際シ豫メ所有者ト協定スルヲ可トス

第十章 人馬ノ衛生

問 軍醫(獸醫)ノ在ラサル部隊ノ患者(病馬)ノ處置ヲ問フ

答 最寄部隊ニ其ノ治療ヲ依託スルモノトス

問 患者(病馬)ヲ地方病院若クハ地方醫(地方獸醫)ニ依託スル場合ヲ述ヘヨ

答 情況已ムヲ得サル時ニ限ルモノトス

問 演習間輕症患者(病馬)行動セシムル規定ヲ説明セヨ

答 各部隊長ハ演習間輕症ノ患者(病馬)ニハ引率者ヲ附シ中立者ト爲シ之カ行動ヲ規定スルモノトス

第十一章 憲兵

問 演習ニ關シ憲兵ノ任務ニ就テ

答 一、憲兵ハ統監部ニ屬シ又ハ各部隊ニ分屬シ宿營地及演習地一般ノ靜肅及秩序ノ維持ニ任スルモノトス
二、憲兵ハ行李輜重等ニ屬スル傭人及地方車馬ヲ監視シ遲留兵ヲ處置スル等主トシテ軍隊後方ノ監察ニ任スルモノトス

問 憲兵ノ職權ニ就テ

答 一、憲兵ハ部隊及哨兵ニ對シテハ其職權ヲ行フコトヲ得ス但シ傭人及地方車馬ノ靜肅ヲ維持スルニ必要ト認ムルコトアルトキハ之ヲ行李及輜重等ノ指揮官ニ

通告スルモノトス

二、軍人軍屬ノ犯罪ハ特ニ検察處分ヲ囑託セラルゝカ
若クハ其ノ處分ヲ便宜トスルトキノ外ハ之ヲ行ハス
シテ直チニ其所屬部隊又ハ所管ニ引渡スモノトス

問 憲兵ト地方警察官トノ連繫上心得ヘキ事項ヲ問フ

答 憲兵ハ地方警察官ト協力シ參觀者ノ果樹園、花園、耕
作地等ニ亂入スルヲ防止スルモノトス

問 憲兵ハ演習ノ爲メ生シタル土地損害ノ調査及損害賠償事務
ニ關シ必要ナル動作ヲ問フ

答 之ニ任せラレタル將校ノ指揮ニ從フモノトス

第十一章 演習後ノ觀兵式

問 演習後觀兵式ヲ行フヤ

- 答 一、1. 特別大演習及ヒ師團對抗演習終了後此演習ニ
參加セル各團隊ノ觀兵式ヲ行フモノトス
2. 特別大演習及師團對抗演習ニ參加セサル師團
ハ師團演習終了後ニ於テ觀兵式ヲ行フモノトス
3. 時宜ニ依リ閱兵若クハ分列式ノミヲ行ヒ或ハ
全ク觀兵式ヲ行ハサルコトアルモノトス
- 二、天皇臨御ノ觀兵式ニ在リテハ其施行ニ先チ觀兵式

諸兵指揮官ハ觀兵式ニ關スル命令ヲ奉呈スルモノト

ス

第十二章 雜則

問 秋季演習間各部隊力陣中要務令ノ規定ニ從ヒ調製シテ各上級指揮官ニ呈出スヘキ報告書類ヲ問フ

答 一、戰鬪要報

二、戰鬪詳報

トス

問 第二篇ニ於テ規定セシ秋季演習ノ日數ハ休日及演習前後並

演習間ノ旅次行軍日ヲ含ムヤ如何

答 含マサルモノトス

問 秋季演習ノ際留意セシムヘキ人員ノ決定上心得ヘキ件如何

答 衛兵其他勤務ノ爲メ必要ナル最少數ヲ以テスヘキモノ

トス

問 秋季演習ニ歸休兵及豫後備役者ヲ參加セシムルコトアリヤ
並ニ參加セシムル際之レカ召集ニ關シ必要ノ注意ヲ問フ

答 參加セシムルコトアリ此場合ニハ衛戍地出發ノ前ニ於
テ若干日間教練ヲ爲スノ餘日ヲ存シテ之ヲ召集スルヲ

可トス

問 演習間休日決定ノ要旨ヲ問フ

答 演習間休日ハ各種演習ヲ變更スル前日ニ於テスルヲ可トス

問 各部隊ハ往復ノ旅次行軍ニ代フルニ鐵道船舶輸送ニ依ルコトヲ得ルヤ

答 各部隊ハ勤務上之ヲ要スルトキ若クハ經費ノ關係上往復ノ旅次行軍ニ代フルニ鐵道船舶輸送ニ依ルコトヲ得ルモノトス

問 機動演習後歸路行軍ノ爲メニ多數ノ日子ヲ要スル場合ニ在リテ衛戍地歸着ト除隊ノ期日ト除隊兵トノ關係上必要ノ件

ヲ説明セヨ

答 衛戍地歸著ハ滿期兵除隊ノ期日ニ後ル、モ妨ケナシ然レトモ其年ノ除隊兵ハ鐵道船舶ノ便ニ依リテ衛戍地ニ歸着セシメ規定ノ期日ニ除隊セシムルヲ要ス

發行所

軍 需 商 會

電話番町一四七一六番
振替口座東京五四一六番

東京市牛込區若松町百五十番地（陸軍戶山學校前通）

不許
複製

著作兼
發行者
東京市赤坂區田町五丁目十一番地
印刷者

上 田 賴 三

山 田 二 次 郎

大正四年十月二十日印刷
大正四年十月廿五日發行

秋季演習令問答與附
正價金拾錢

軍需商會出版物概要

精神訓練戒集(大正四年訂正増補) 内陸軍下士志願案
軍務二關スル參考書得内
現下供兵器保有スル參考書得内
軍新隊地士教講話育必要兵携領
軍隊教育士教講話育必要兵携領
軍隊家庭ニ於心理ノ研究職責
軍隊家庭ニ於心理ノ研究職責
軍範令書精神類要家庭領聚
軍人精神教育ト家庭領聚
軍人精神教育ト家庭領聚
軍攻軍的精神的實際典範令書精神類要家庭領聚
軍人精神教育ト家庭領聚

全一冊	定價四拾錢	郵稅六錢
全一冊	同貳拾五錢	四錢
全一冊	同拾貳錢	貳錢
全一冊	同參拾錢	四錢
全一冊	同貳拾錢	四錢
全一冊	同參拾五錢	四錢
全一冊	同貳拾五錢	四錢
全一冊	同參拾錢	四錢
全一冊	同貳拾五錢	四錢
全一冊	同參拾錢	四錢
全一冊	同貳拾五錢	四錢
全一冊	同拾五錢	四錢
全二冊	同參拾錢	四錢



終